

民衆の斗争妨害を粉碎し
全国学生斗争を支援す。

全市大の学校諸君、

ている。このことは端的に東大村動隊
 導入にみられる。「村動隊は警備生は
 ない。警備の役面をなぶったゲンユタ
 である。」（羽仁五郎）

ホである。(孝仁五郎)

我々が、リベラリタと云ふに守られた大學、
既存の大學は、ちはや中しれるべき大學
ではない。我々は、正しいの
正しいと云い、それを實踐する、そ
れを指しする大學を望むのだ。既存
の大學を、解體せよ、その上に新た
な、夏の意味での民主主義的な大學と
大學を、我々を創設せよ。この突破口は
市大医学部に於て、学生の拒否権とい
う形で表現されてゐる。全この学生諸
君、断固として医学部拒否を獲得
しようではないか。我々、総一會議は
全ゆるいさぎ、被害をのりこえ、歩頭に
つて、この大學を創設する。

改名的數也を國事
的に勝利せんとする
曰其民青の策動を
粉砕し、東大京大斗争
を斗い抜き、全日本
国斗争の勝利の突破
口とせよ。

4名の学友の承認した全園田総決起
集會は、四六町の「ボス」奥田総決

のみきいてる言士大々堂當局の不当な断切により、学生部即集会をもつことが困難であつた。しかしながら、我々は数ヨ部前での集会を庄重的に成功させたのも、断固として学生部前へ集会をもつべく出発した。しかし、「民権」路線の破たんを軍事的に購利せんとする民権は、正々前にバリケードを築くその背後に数日のヘルメット、太バ棒等の「全無運」行動隊たるものをみえ、我々の集会の開催を妨害した。我々なバリケードをとりなせろとすると、投石、放水、消火散布、石灰、消火器はてはキヤタツまで投げ出し、ヨッポ反に對し暴力のあらうなチリをつくつくとした。「暴力とは右翼が使うものである。この民権の暴力に對し我々をとりまく一般学生（ノンポリ）までがバリケードをこわしはじめた。政治的敗北を軍事力でインペイしようとする民権に對し、明確にその本性を暴露した「ノンポリ」はすでに我々のさめりけに結集している。「民権」をなげなげうたうの言士大々堂に、一歩前進をむけ、既成の大なるを中うつとしてゐる諸君、いかに我々を拒否せよといふ（ヨッポ部）